

3人4脚



R2. 7/3(金) 第4号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

お互いに仲間を『思いやり』、みんなで『協力』!!

～「学校と家庭そして地域の三者」が「心の三密」となってこの状況乗り越えていきましょう～

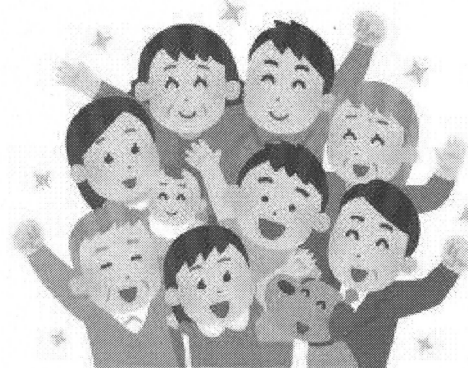
今週の6/29(月)から生徒全員そろっての一斉登校となりました。対面ではなく、全員前を向いてではありますが、約4か月ぶりに全員そろっての給食をみんなでおいしくいただきました。生徒のみならず、保護者の皆さまも今日の日を待ち遠しく思っていたこととご推察いたします。今までのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



3/2(月)に始まった一斉臨時休業措置により授業や部活動が行えず、多くの学校行事が変更や中止になりました。新型コロナウイルス感染症の影響で失った学校生活は取り戻すことができませんが、この先の学校生活は、みんなの力を合わせればきっと充実したものにしていくことができるはずです。私は、この先の学校生活を充実させる

ためには、何よりも『思いやり』と『協力』が大切であると思っています。

今後も「三つの密」をできるだけ避けた学校生活を送らなければなりません。お互いに仲間を『思いやり』、みんなで『協力』していくことによって、気持ちの上で密度の高い充実した学校生活にしていくことができると考えています。「学校と家庭そして地域の三者」が「心の三密」となってこの状況乗り越えていきましょう。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



今後も「手洗い」と「換気」を中心に、指導を徹底します。

4月の入学式、始業式の日からはじまり、6月からは生徒の登校する日には、毎日、消毒作業を行ってきました。放課後、生徒が教室を出た後、先生方は担当学年ごとに、教室・廊下・トイレ等の掃除と消毒を行っています。

新型コロナウイルス感染症に対する予防についての対応のポイントは、「手洗いの徹底」と「三密を避けること」の2つです。学校でも家庭でも、私たちは様々なものに触れます。それらすべてを消毒することはかなり困難なことです。頻繁に触れるドアノブや窓枠、そして、特別教室の道具等は消毒を毎日行いますが、ありとあらゆるものまでは無理があります。それよりも「手洗い」と「手を目や口、鼻にもっていかないこと」を徹底して、指導することに力を入れたいと思います。

そしてもう1つは「三密」をさけることです。学校においてポイントになるのは、まめな「換気」を行うことです。授業ごとに窓を開け、空気を入れ替えをします。学校の教室は狭いので、隣の人との距離は1m程度となり、ソーシャルディスタンスのギリギリの距離です。ですから、余計に換気が重要となります。今後も「手洗い」と「換気」を中心に、生徒への指導を徹底し、感染者を出さないよう取り組みを継続してまいります。



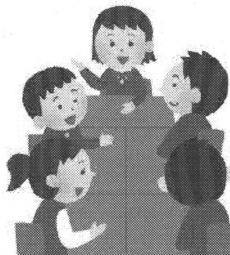
しばらくは、全員が前を向いて話さずに給食を食べます。

学校生活の中で最も感染のリスクのある活動が「給食の時間」です。マスクを外し、食べ物を口に入れるという活動にリスクがついてまわります。給食前の手洗いは当然のことですが、それ以外に配膳でも、「三密」をさけるために、順番に取りにくるスタイルに変更しました。待っている人は、自席に着席し、静かに待っています。(中には、静かに読書をして待っている生徒もいます。)

食事中は、写真のように文科省のガイドラインに則って、全員が前を向いて話さずに給食を食べます。今までの楽しい給食の時間を考えると、「黙食」となってしまい、辛い状況ですが、当面はこのような対応をまいります。



段々と教育活動が再開されてきています!!



今週は、7/1(水)の放課後に今年度初めての各種委員会が行われました。どの委員会でも、委員長・副委員長の選出、今年度の活動計画等の話し合いが行われました。また、7/2(木)の放課後からは部活動が始まりました。1年生の体験入部は、7/7(火)からとなります。感染予防をしっかりと図りながらの段階的な活動再開となりますが、生徒の自主的な教育活動の再開を大変嬉しく思っています。

食中毒の防止および安全衛生の面からご理解とご協力をお願いいたします。

通院等で遅刻して登校する際、給食の時間の終わりまでにはお子さんが給食を食べられるように対応しますが、原則として、その後は、食中毒の防止および安全衛生の面から、大変申し訳ありませんが、片付けさせていただきます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



部活動保護者会にぜひともご参加ください。

7月末から8月の期間で、各部活動ごとに部活動保護者会を行います。詳細につきましては、後日、各部活動の顧問より紙面にて具体的な日時をお知らせいたします。お忙しいこととは思いますが、ぜひともご参加いただけますようお願いいたします。

「幸福の欠点は 終わりがあること」【アフリカのことわざ：東邦出版より】

「始めあるものは必ず終わりあり」と同様で、物事には必ず終わりがあります。幸福も同じです。終末を迎えるのは、本当に切ないことですが、一方で、いずれ終わりが来ることを意識することで、今を大切にすることが生まれ、感謝や幸福感をより深く感じることもできます。・・・毎日、新聞やテレビ等で、新型コロナウイルス感染症の感染者数等が報道されています。亡くなられた方の数も報道されています。この数字をどう見るか。・・・感染された方や亡くなられた方は「数字」ではなく、「実際の人間」です。志村けんさんや岡江久美子さんのような著名人の命も一般の方の命もどちらも尊い命。・・・この「幸福の欠点は 終わりがあること」というアフリカのことわざは、我々に日々の報道に「命」を感じながら接することの大切さを教えてくれることわざのように感じました。